

ボーリング柱状図

調査名 主要地方道 呉環状線外 測量設計業務委託(道路・河川・砂防維持修繕) 警固屋第2ドック横

事業・工事名 主要地方道 呉環状線外 測量設計業務委託(道路・河川・砂防維持修繕) 警固屋第2ドック横

ボーリングNo 5 1 3 2 2 4 3 3 0 0 3

シートNo 3

ボーリング名	No. 3		調査位置	呉市警固屋八丁目			北緯	34° 11' 43.0290"									
発注機関	広島県西部建設事務所 呉支所			調査期間	2019年 6月 19日 ~ 2019年 7月 1日			東経	132° 32' 30.0106"								
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者									
孔口標高	GH=+46.34m		角	180° 上 90° 下 0° 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 29°		使用機種	東邦O-D		ハンマー落下用具	半自動モンケン	
総掘進長	10.00m		度	0° 0°		向			エンジン	ヤンマーNFD-13		ポンプ	東邦BG-3C				

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	室内試験(方法)	掘進月日
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	0	10					
1	45.94	0.40	0.40		シルト質砂	暗褐色	非常に細かい		木枝・木根を含む。砂分が中～細粒砂主体のマサ土。		1.15	1	1	1	3				6/20
2	44.84	1.10	1.50		シルト質砂	淡黄褐色	非常に細かい		砂分は粗粒砂20%前後、中粒砂10%前後、細粒砂30%前後となる。		1.45	4	4	4	12				6/21
3					強風化花崗岩	淡黄褐色			棒状コアで採取され、コア表面粗い。指圧で容易に砂～細礫状に崩れる。深度4.90m以深で淡灰褐色を呈す。長石類は概ね粘土化し、石英類は粒子硬く砂状で残る。		2.15	4	4	4	12				6/24
4					風化花崗岩	灰褐色			ハンマー軽打で礫～砂状に崩れる。		3.15	8	11	20	39				
5					風化花崗岩	灰褐色			ハンマー軽打で礫～砂状に崩れる。		3.45	5	5	5	15				
6	40.44	4.40	5.90		風化花崗岩	白灰			棒～岩片状コアでコア表面は滑らか割れ目は約80°が認められ、割れ目間隔は5～25cm。最大コア長L=25cmで、ハンマー軽打で高音と共に割れ目沿いに分かれる。		4.15	5	5	5	15				
7	39.24	1.20	7.10		風化花崗岩	白灰			ハンマー軽打で礫～砂状に崩れる。		4.45	5	5	5	15				
8	38.83	0.41	7.51		風化花崗岩	白灰			深度5.90m～7.10m間と同様の様相を呈す。最大コア長L=30cm。		4.5	5	5	10	20				
9	38.04	0.79	8.30		風化花崗岩	灰褐色			ハンマー軽打で礫～砂状に崩れる。		5.15	5	5	10	20				
10	37.80	0.18	8.48		風化花崗岩	白灰			棒～岩片状コアでコア表面滑らか割れ目は80°～60°が認められ、割れ目間隔は5～34cm。ハンマー軽打で高音と共に割れ目沿って分かれ、岩片はハンマー打撃で細片状に砕ける。深度9.75m～10.00m間では割れ目が密集し、礫状～岩片状となる間に粘性土存在。		5.45	貫入不能	貫入不能	貫入不能	貫入不能				
11					風化花崗岩	白灰			ハンマー軽打で礫～砂状に崩れる。		6.00	貫入不能	貫入不能	貫入不能	貫入不能				
12											7.25	13	20	17	50				
13											7.51	19	31	3	50				
14											8.35	貫入不能	貫入不能	貫入不能	貫入不能				
											8.48	貫入不能	貫入不能	貫入不能	貫入不能				
											9.00	貫入不能	貫入不能	貫入不能	貫入不能				
											10.00	貫入不能	貫入不能	貫入不能	貫入不能				
											10.00	貫入不能	貫入不能	貫入不能	貫入不能				